

坂口昂 さかぐち たかあき 西洋史學者、文學博士。明治五年一月二十五日兵庫縣生れ、昭和二年一月二十八日没（七二—一九二一）。號甲陵、鐵舟齋。東京帝國大學文科大學卒業。第二高等學校教授を経て、明治四十二年東京帝國大學文科大學史學科教授となり西洋史を授けり。西洋古代史の始まるの研究對象を、最近史學理論、史の科學の擴げた。著作中『概觀世界思潮』（大正九年七月五日岩波書店）、『世界の希臘文明の潮流』（増訂版・大正十二年七月十五日岩波書店）は斯界の評判著しいものがあり、殊に前者は當代學生必讀の書とせられた。

他の『歴史家の旅から』（大正十二年七月五日内外出版株式會社。復刊『歴史家の旅から』昭和五十六年五月十日中央公論社「中公文庫」）、『ルネッサンス史概説』（昭和五年四月十五日岩波書店）、『世界史論講』（昭和六年六月二十五日岩波書店）、『獨逸史學史』（昭和七年四月二十日岩波書店）等。譯書は、バルンハイム著『歴史とは何ぞや』（山野鐵二共譯、大正七年五月二十五日岩波書店「史學叢書」）、復刊『バルンハイム歴史とは何ぞや』（昭和七年八月十五日岩波書店「岩波文庫」）、リース著『世界史の使命』（安藤俊雄共譯、大正十一年五月二十五日岩波書店「史學叢書」）等。

